

民間ネット調査「環境事業に関するアンケート」（令和7年7月実施）の結果

○調査目的

大阪市では、地球温暖化対策やヒートアイランド対策の普及拡大に向けた取組や、生物多様性に関する事業等を実施しています。

そこで、市民のみなさまが大阪市の環境関連事業に関して、どのような意識やお考えをお持ちになっているのかをお聞きし、効果的な事業展開を図っていくうえでの参考にするため、今回の調査を実施します。

○調査期間

令和7年7月28日から7月30日

○調査内容

環境事業について

○回答構成

(1) 有効回答数 500 回答 (100%) (調査対象 500 人)

(2) 性別 男性：250 回答

女性：250 回答

(3) 回答者属性

年代別		男性	女性	合計	割合
1	18歳～29歳	50	50	100	20.0%
2	30歳～39歳	50	50	100	20.0%
3	40歳～49歳	50	50	100	20.0%
4	50歳～59歳	50	50	100	20.0%
5	60歳以上	50	50	100	20.0%
合計		250	250	500	100.0%
行政区別		男性	女性	合計	割合
1	北区	18	15	33	6.6%
2	都島区	8	8	16	3.2%
3	福島区	8	10	18	3.6%
4	此花区	3	6	9	1.8%
5	中央区	9	8	17	3.4%
6	西区	10	7	17	3.4%
7	港区	7	8	15	3.0%
8	大正区	8	3	11	2.2%
9	天王寺区	6	10	16	3.2%
10	浪速区	13	4	17	3.4%
11	西淀川区	10	15	25	5.0%
12	淀川区	19	12	31	6.2%
13	東淀川区	15	20	35	7.0%
14	東成区	11	9	20	4.0%
15	生野区	3	5	8	1.6%
16	旭区	7	12	19	3.8%
17	城東区	19	17	36	7.2%
18	鶴見区	10	5	15	3.0%
19	阿倍野区	14	10	24	4.8%
20	住之江区	9	11	20	4.0%
21	住吉区	13	22	35	7.0%
22	東住吉区	9	9	18	3.6%
23	平野区	11	19	30	6.0%
24	西成区	10	5	15	3.0%
合計		250	250	500	100.0%

※本調査結果についての留意事項

- ・ 質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。
 - ・ 数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入で算出しています。したがって、内訳の合計が全体の合計に一致しないことがあります。
- また、複数回答の質問については、該当者数を母数に比率表示しています。

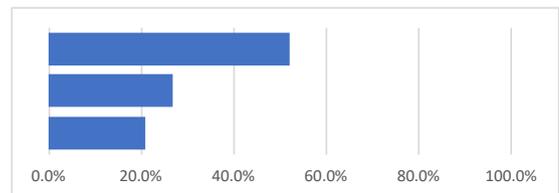
○結果概要

(1) 地球温暖化対策について

Q1. <地球温暖化への関心>

あなたは、地球温暖化について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

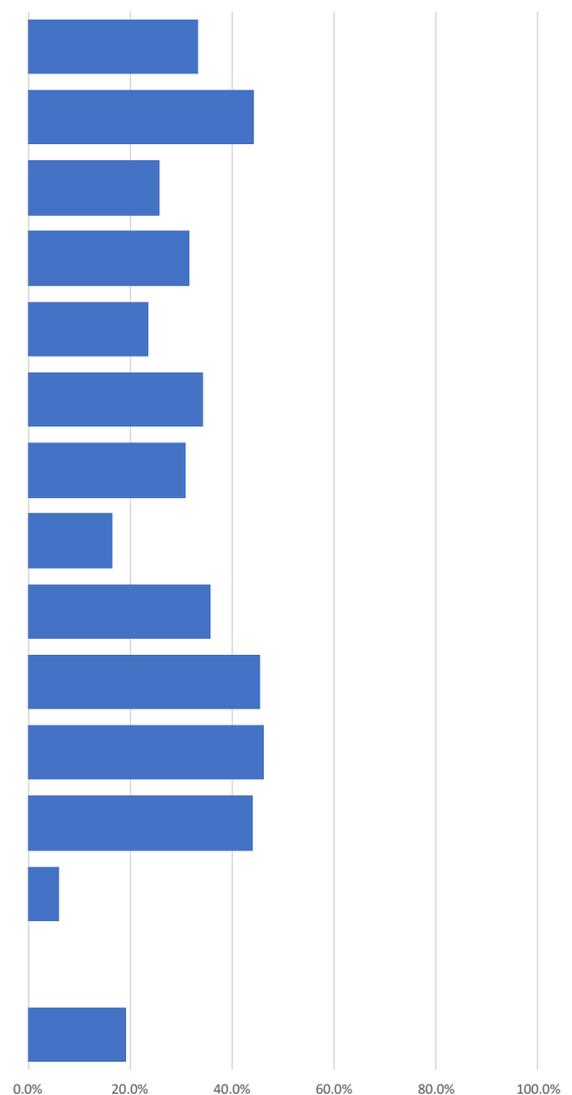
	回答数	比率
1 関心がある	261	52.2%
2 関心がない	134	26.8%
3 どちらともいえない	105	21.0%
回答総数	500	100.0%



Q2. <省エネ行動の実施状況>

あなたは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らすためにどのような省エネルギーの取組をしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

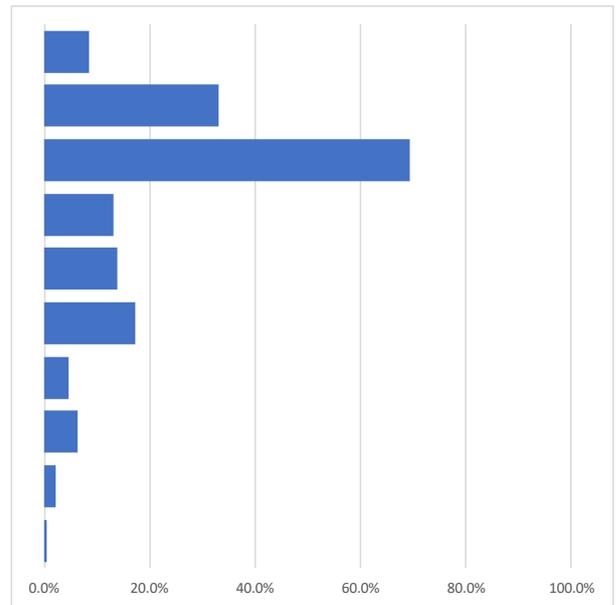
	回答数	比率
1 冷暖房時の室温を夏は28°C程度、冬は20°C程度になるように調節する	167	33.4%
2 見ていないテレビはこまめに消す	222	44.4%
3 部屋をかたづけしてから掃除機をかける	129	25.8%
4 冷蔵庫のドアの開閉を減らし、ものを詰め過ぎない	158	31.6%
5 湯が冷めないよう家族間で続けてお風呂に入浴する。シャワーを不必要に流したままにしたりしない	118	23.6%
6 洗濯物はまとめて洗いをして洗濯回数を少なくする	171	34.2%
7 トイレの温水洗浄便座を使わないときは、フタをしめる	154	30.8%
8 電気製品（電気レンジなど）を長時間使用しないときは、プラグを抜く	83	16.6%
9 LED電球を使用している	179	35.8%
10 ごみをきちんと分別して出す	228	45.6%
11 マイバッグ・マイボトル・簡易包装などでごみを減らす	231	46.2%
12 食事は食べきり、食品ロスを減らす	220	44.0%
13 高効率給湯器や空調機など省エネ型家電に買替えた	30	6.0%
14 その他	0	0.0%
15 取り組んでいない	96	19.2%



Q3. <省エネ行動を始めたきっかけ>

Q2で「1」～「14」を回答された方にお聞きします。あなたが始めたきっかけをお選びください。
(複数回答可)

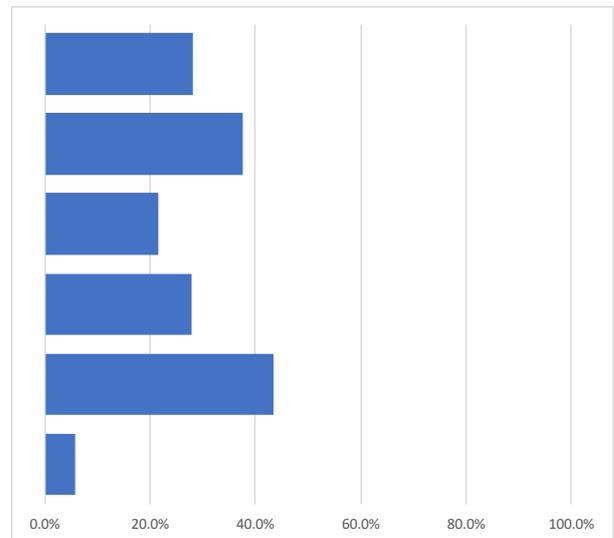
	回答数	比率
1 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動(通称:デコ活)のサイトを見たから	34	8.4%
2 地球温暖化による気候変動の影響や被害などにより環境を守る必要性を感じるから	134	33.2%
3 節約になるから	280	69.3%
4 家族がやっているから	53	13.1%
5 一人暮らしや結婚、退職など、ライフステージが変わったから	56	13.9%
6 インターネットやテレビ、SNS等で見たから	70	17.3%
7 学校で勉強した、または、子どもが学校で勉強してきたから	19	4.7%
8 友人や近所の方が、取り組んでいたから	26	6.4%
9 講演会・勉強会等に参加したから	9	2.2%
10 その他	2	0.5%



Q4. <地球温暖化対策に取り組む際の情報>

地球温暖化対策に取り組む際に、どのような情報があると分かりやすい、取り組みやすいと思いますか。(複数選択)

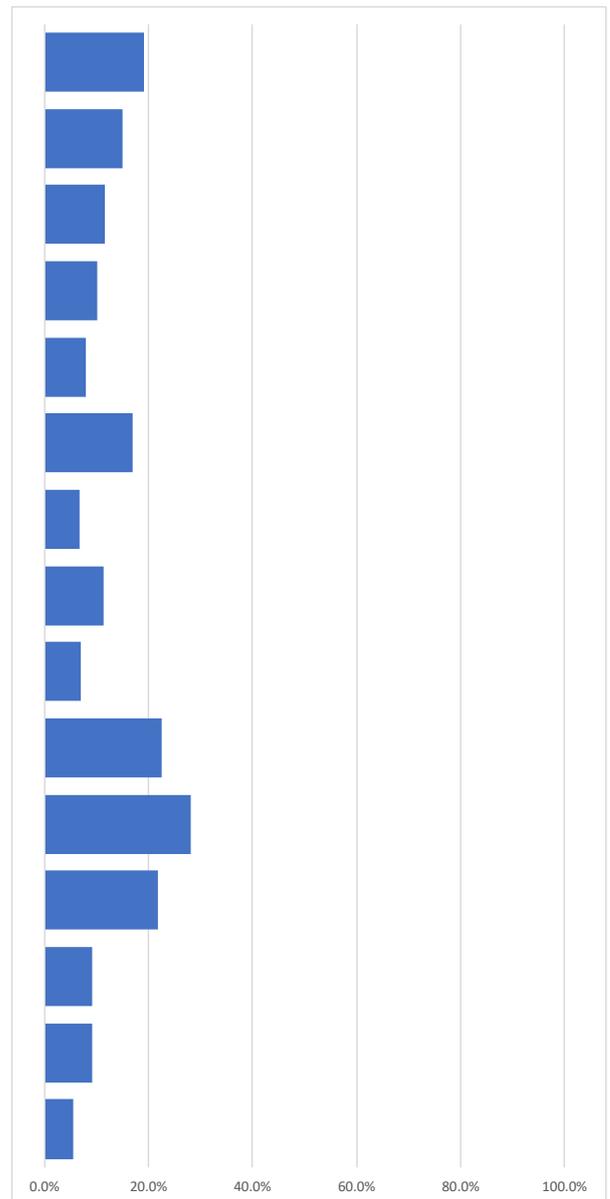
	回答数	比率
1 温室効果ガス(CO ₂ 等)の排出量の目標	141	28.2%
2 エネルギー(電気・ガス等)の消費量の目標	188	37.6%
3 大阪市の地球温暖化対策のビジョン(大阪の成長につながる脱炭素社会「ゼロカーボン おおさか」)の提示	108	21.6%
4 具体的な地球温暖化対策の取組み(省エネ行動等)に関する目標とその効果(CO ₂ 削減効果・節約効果等)の提示	139	27.8%
5 地球温暖化による気候変動の影響と将来予測などの情報	217	43.4%
6 その他	28	5.6%



Q 5. <大阪市の地球温暖化対策>

地球温暖化対策として、大阪市はどのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。
あてはまるものを3つまでお選びください。

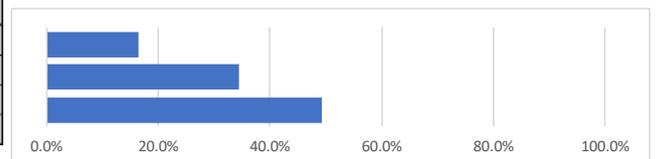
	回答数	比率
1 太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を促進する	96	19.2%
2 水素など新たなエネルギーの活用を進める	75	15.0%
3 E V（電気自動車）やF C V（燃料電池自動車）の普及を拡大する	58	11.6%
4 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を推進する	50	10.0%
5 脱炭素マインドを醸成する環境教育・普及啓発を推進する	39	7.8%
6 遮熱・断熱仕様等の導入など、省エネ性能の高い建築物の普及を拡大する	84	16.8%
7 事業活動の脱炭素化に向けた事業者の自主的な取り組みを促進する	34	6.8%
8 市役所等公共施設において省エネ化や再生可能エネルギーの導入を拡大する	57	11.4%
9 地域特性を活かした環境技術の実装された脱炭素型のまちづくりに取り組む	35	7.0%
10 公共交通機関や徒歩・自転車等の移動が便利なまちづくりを進める	113	22.6%
11 食品ロス対策やプラスチックごみの削減など、省資源と資源循環を促進する	140	28.0%
12 緑化を推進する。また、国産木材の利用を促進する	109	21.8%
13 地球温暖化対策に関するビジネスの活性化を進める	46	9.2%
14 海外の都市との連携等により国際的な地球温暖化対策に貢献する	45	9.0%
15 その他	27	5.4%



Q 6. <気候変動への適応の認知度>

気候変動への「適応」についてお伺いします。あなたは「適応」という言葉を知っていますか。

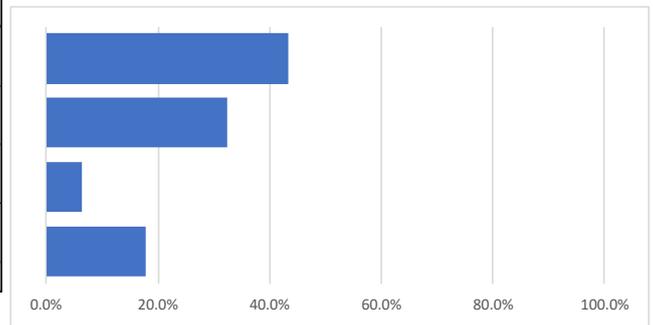
	回答数	比率
1 意味も含めて知っていた。	82	16.4%
2 言葉は知っているが、意味は知らなかった。	172	34.4%
3 言葉自体を知らなかった。	246	49.2%
回答総数	500	100.0%



Q7. <熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラートの認知度>

あなたは、「熱中症警戒アラート」、「熱中症特別警戒アラート」という言葉を知っていますか。
 あてはまるものを1つお選びください。

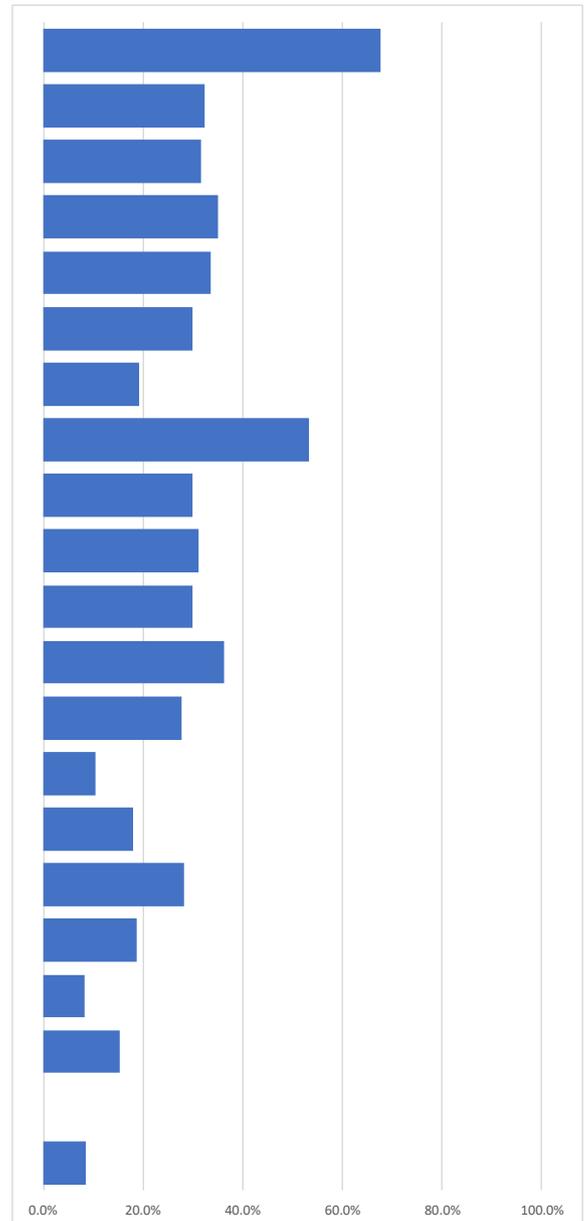
	回答数	比率
1 熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラート、両方知っている	217	43.4%
2 熱中症警戒アラートは知っているが、熱中症特別警戒アラートは知らない	162	32.4%
3 熱中症警戒アラートは知らないが、熱中症特別警戒アラートは知っている	32	6.4%
4 熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラート、両方知らない	89	17.8%
回答総数	500	100.0%



Q8. <熱中症予防状況>

熱中症予防や対策の取組として、次にあげるものがあります。
 あなたが取り組んでいるものをすべてお選びください。

	回答数	比率
1 こまめに水分を補給する	338	67.6%
2 塩分・ミネラルを含む食べ物や飲料を摂取する	162	32.4%
3 バランスのよい食事を心がける	158	31.6%
4 朝食をとる	175	35.0%
5 帽子をかぶる	168	33.6%
6 通気性の良い服を着る・軽装にする	149	29.8%
7 窓を開けて室内の風通しをよくする	96	19.2%
8 エアコンや扇風機を利用する	266	53.2%
9 直射日光をできるだけ浴びないようにする	149	29.8%
10 日傘をさす	156	31.2%
11 日中の暑い時間帯の外出を避ける	149	29.8%
12 十分、睡眠をとる	181	36.2%
13 規則正しい生活をこころがける	138	27.6%
14 本格的に暑くなる前から暑さに慣れるための発汗運動（暑熱順化）などを行う	52	10.4%
15 首などを冷やす冷却グッズを利用する	90	18.0%
16 天気予報などで気温や湿度の情報を把握する	141	28.2%
17 天気予報などで熱中症の危険度を把握する	94	18.8%
18 自分のいる環境の熱中症の危険度を測る	41	8.2%
19 公共施設やクーラーの効いた屋内施設や店舗などに行く	77	15.4%
20 その他	0	0.0%
21 特に何もしない	43	8.6%

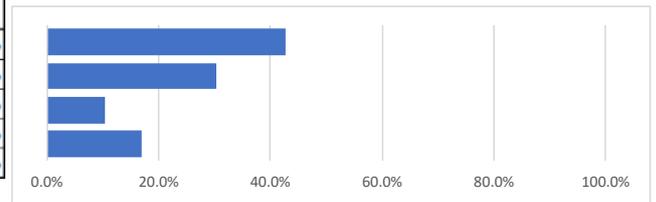


(2) ヒートアイランド対策について

Q9. <ヒートアイランド現象の認知度>

あなたは、『ヒートアイランド現象』という言葉や内容を知っていますか。
もっとも近いものを1つお選びください。

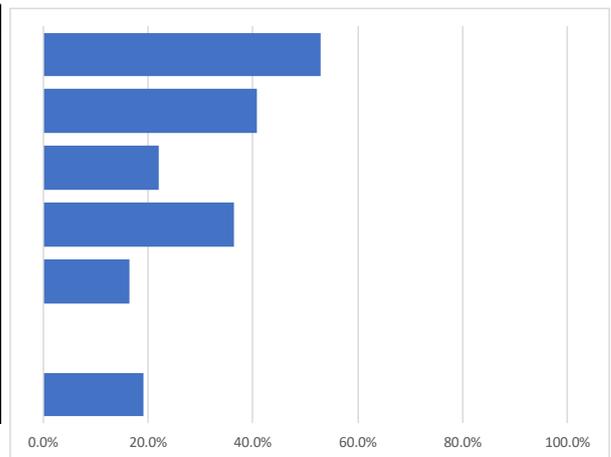
	回答数	比率
1 言葉も内容も知っていた	213	42.6%
2 言葉は知っていたが、内容は知らなかった	151	30.2%
3 内容は知っていたが、言葉は知らなかった	52	10.4%
4 言葉も内容も知らなかった	84	16.8%
回答総数	500	100.0%



Q10. <ヒートアイランド現象のイメージ>

「ヒートアイランド現象」について、あなたが生活していくうえで感じることは何ですか。
あてはまるものを3つまでお選びください。

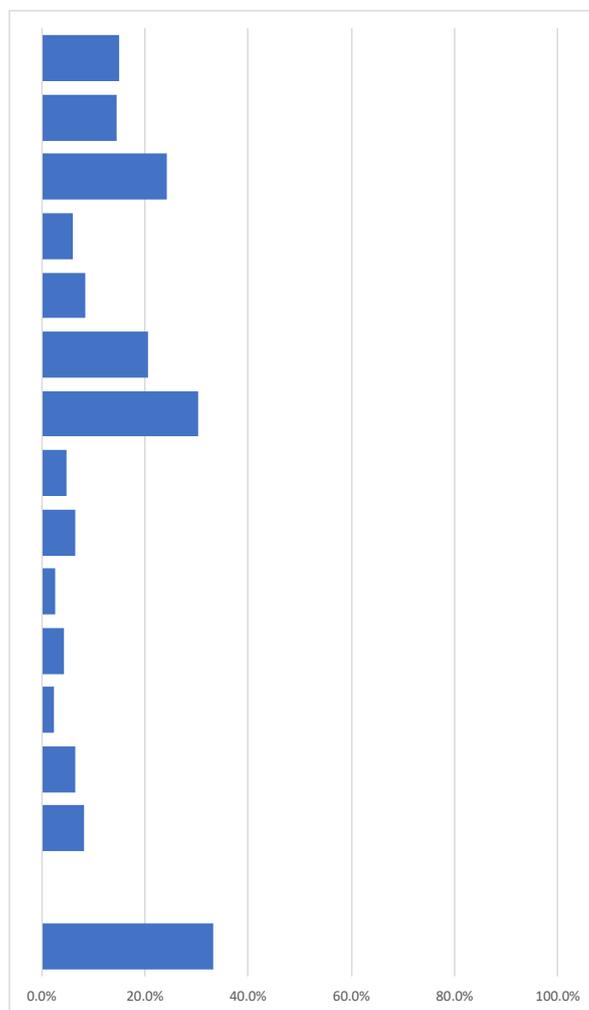
	回答数	比率
1 街なか暑く、日中に出歩きにくい	265	53.0%
2 夜が暑く、夜中に寝苦しい	204	40.8%
3 体調管理しにくく、また熱中症などが心配である	110	22.0%
4 暑さによりエアコンの使用頻度が多くなり、電気代が高くなる	182	36.4%
5 局所的な集中豪雨による浸水被害などが心配である	82	16.4%
6 その他	0	0.0%
7 あてはまるものはない	95	19.0%



Q11. <ヒートアイランド対策の取組>

ヒートアイランド対策の取組として、次にあげるものがあります。
あなたが取り組んでいるものをすべてお選びください。

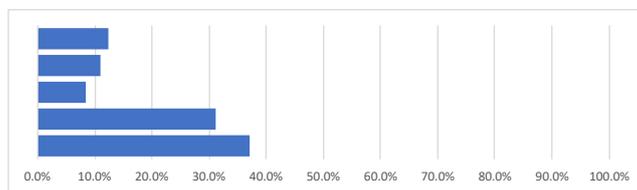
	回答数	比率
1 緑のカーテン、よしずによる日差しの遮断	75	15.0%
2 打ち水、ドライミストなど水を活用	72	14.4%
3 公共交通機関の積極的な利用	121	24.2%
4 エコカーの使用	30	6.0%
5 エコドライブの実施	42	8.4%
6 省エネ家電（テレビ、冷蔵庫、エアコン等）の使用	103	20.6%
7 LED電球などの高効率照明の使用	152	30.4%
8 見える化機器・HEMSの使用	24	4.8%
9 高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）の設置	32	6.4%
10 家庭用コージェネレーションシステム（エコウィル、エネファームなど）の設置	13	2.6%
11 太陽光発電設備の設置	21	4.2%
12 太陽熱温水器の設置	11	2.2%
13 緑化、高反射率塗装などによる建物表面の高温化の防止	32	6.4%
14 建物の断熱化（複層ガラス、内窓、断熱壁など）	41	8.2%
15 その他	0	0.0%
16 取り組んでいない	166	33.2%



Q12. <打ち水の実施状況>

個人でできる身近なヒートアイランド対策のひとつに『打ち水』がありますが、
あなたは、夏場に『打ち水』を行っていますか。もっとも近いものを1つお選びください。

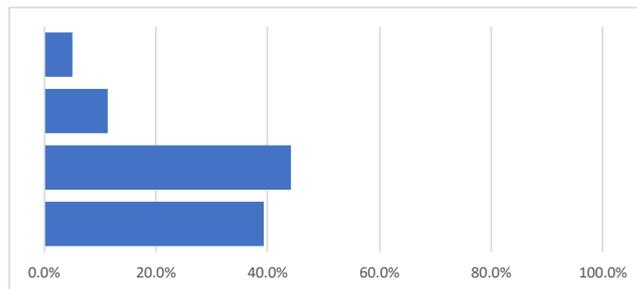
	回答数	比率
1 毎年行っている	62	12.4%
2 毎年ではないが行っている	55	11.0%
3 以前は行っていたが、いまは行っていない	42	8.4%
4 行いたい、実施できる環境がない	156	31.2%
5 意識がなく、全く行っていない	185	37.0%
回答総数	500	100.0%



Q13. <緑のカーテン・カーペットづくりの実施状況>

『打ち水』のほか、身近なヒートアイランド対策のひとつに『緑のカーテン・カーペット』づくりがあります。あなたは夏場『緑のカーテン・カーペット』づくりに取り組んでいますか。あてはまるものを1つお選びください。

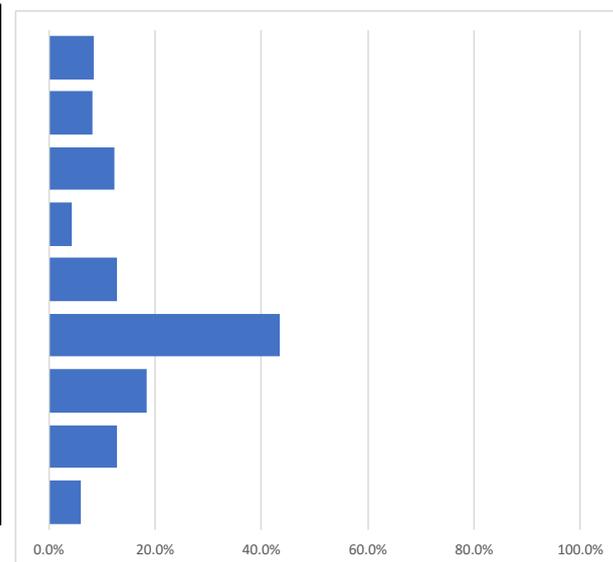
	回答数	比率
1 緑のカーテン・カーペットづくりのいずれか1つでも取り組んでいる	25	5.0%
2 以前は取り組んでいたが、今は取り組んでいない	57	11.4%
3 取り組んでみたいが、取り組める環境がない	221	44.2%
4 取り組んでいないし、これからも取り組むつもりはない	197	39.4%
回答総数	500	100.0%



Q14. <緑のカーテン・カーペットに関する情報>

あなたはどこで緑のカーテン・カーペットを知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)

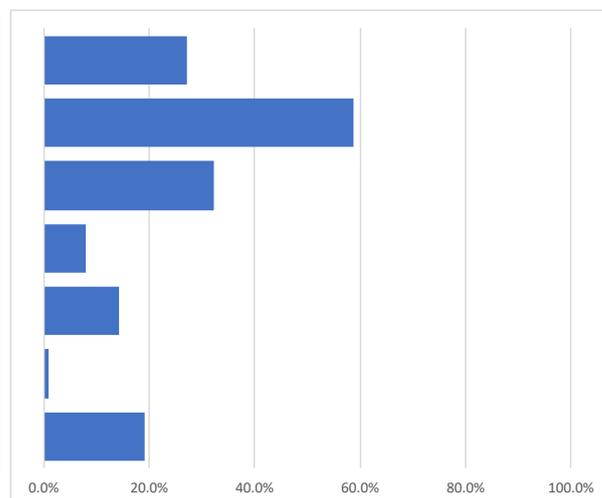
	回答数	比率
1 チラシ・リーフレット	42	8.4%
2 区の広報紙	41	8.2%
3 大阪市ホームページ	61	12.2%
4 なにわエコスタイル (大阪市が運営する環境学習情報発信サイト)	21	4.2%
5 SNS (X・Facebook・Instagram等)	64	12.8%
6 テレビ、新聞、雑誌	217	43.4%
7 家族、友人、知人	92	18.4%
8 大阪市施設での取組を見て	64	12.8%
9 その他	30	6.0%



Q15. <夏を快適に過ごすために工夫していること>

あなたが暑い夏を快適に過ごすためにあなたが工夫していることはありますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

	回答数	比率
1 窓、扉を開けて風とおしをよくしている	136	27.2%
2 クーラーなどの冷房器具を適切に使用している	294	58.8%
3 クールビズ、日傘の使用など服装を工夫している	161	32.2%
4 クールスポットを活用している	40	8.0%
5 気象予報、暑さ指数(WBGT)、熱中症予防に関する情報を活用している	71	14.2%
6 その他	4	0.8%
7 工夫していることはない	96	19.2%

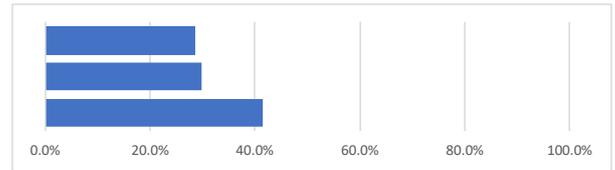


(3) 生物多様性について

Q16. <生物多様性の認知度>

私たちは、日々の暮らしの中で「生物多様性」の多大なる恵みを受けています。あなたは、「生物多様性」という言葉や意味を知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

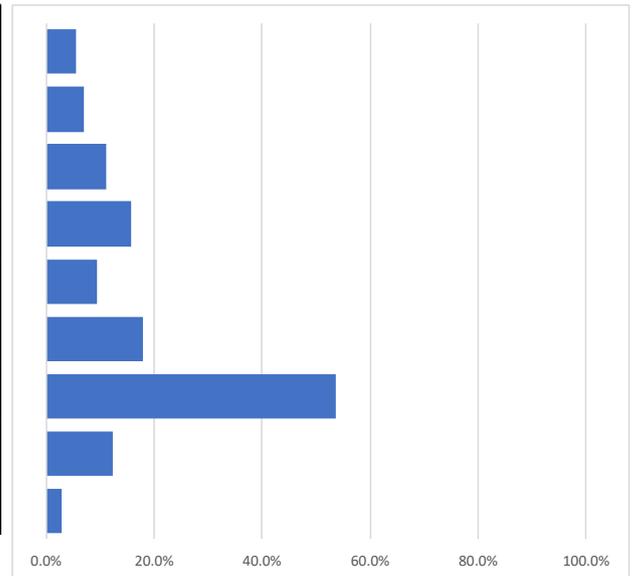
	回答数	比率
1 言葉も意味も知っていた	143	28.6%
2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった	149	29.8%
3 言葉も意味も知らなかった	208	41.6%
回答総数	500	100.0%



Q17. <生物多様性に関する情報>

Q16で「1」もしくは「2」を回答された方にお聞きします。あなたは「生物多様性」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)

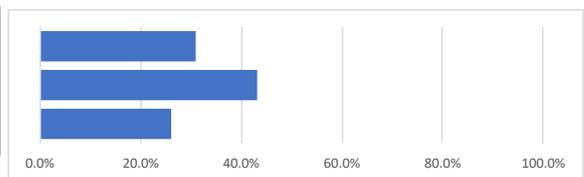
	回答数	比率
1 大阪市の開催する環境学習講座	16	5.5%
2 大阪市関連施設でのイベント、展示等	20	6.8%
3 リーフレット、冊子	32	11.0%
4 大阪市ホームページ	46	15.8%
5 なにわエコスタイル（大阪市の運営する環境学習情報発信サイト）	27	9.2%
6 SNS（Twitter・Facebook・Instagram等）	52	17.8%
7 テレビ、新聞、雑誌	157	53.8%
8 家族、友人、知人	36	12.3%
9 その他	8	2.7%



Q18. <生物多様性の恵み>

あなたは日々の暮らしの中で、自然や生き物を身近に感じますか。あてはまるものを1つお選びください。

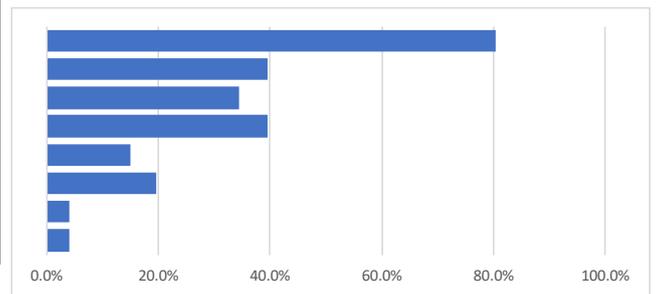
	回答数	比率
1 感じる	154	30.8%
2 感じない	216	43.2%
3 わからない	130	26.0%
回答総数	500	100.0%



Q19. <自然や生き物を身近に感じるとき>

Q18で「1」を回答された方にお聞きします。あなたは日々の暮らしの中で、どのような場所で自然や生き物を身近に感じますか。あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)

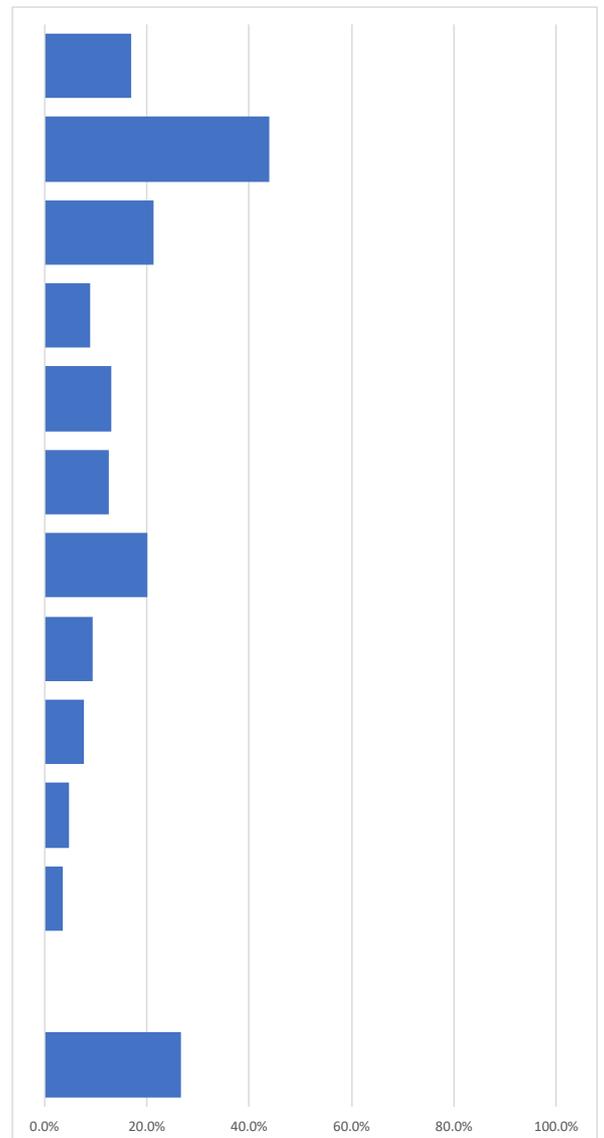
	回答数	比率
1 公園	124	80.5%
2 道路	61	39.6%
3 寺・神社	53	34.4%
4 川辺	61	39.6%
5 建物(寺、神社、学校を除く)	23	14.9%
6 海辺	30	19.5%
7 学校	6	3.9%
8 その他	6	3.9%



Q20. <生物多様性保全に貢献する取組>

生物多様性を保全し、自然と共生していくためには、一人ひとりの行動も重要です。あなたが現在実行していることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数	比率
1 地産地消を心がけ、旬の食材や自分が住んでいる地域でとれたものを食べる	85	17.0%
2 食品ロスなどの無駄な消費をなくすように心がける	220	44.0%
3 省エネなど地球温暖化防止に配慮したライフスタイルを心がける	106	21.2%
4 生物多様性に配慮した認証製品や生物多様性保全に貢献している企業の商品やサービスを選ぶ	44	8.8%
5 外来種をペットとして飼ったり、栽培するときは責任を持って行き、放したり捨てたりしないようにする	65	13.0%
6 海、山、川などに行き、身近な自然を楽しく経験する	63	12.6%
7 山や川、海など自然のなかへ出かけるときは、ごみ捨てなどのマナーを守り、自然を汚さないように努める	100	20.0%
8 清掃活動に参加するなど、まちの美化に努める	47	9.4%
9 自然観察会などの活動に積極的に参加し、自然に対する理解を深める	38	7.6%
10 里山、農地、ため池など身近な自然環境の保全活動に参加する	24	4.8%
11 外来種の駆除活動や希少種の保護活動に参加する	18	3.6%
12 その他	0	0.0%
13 あてはまるものはない	133	26.6%



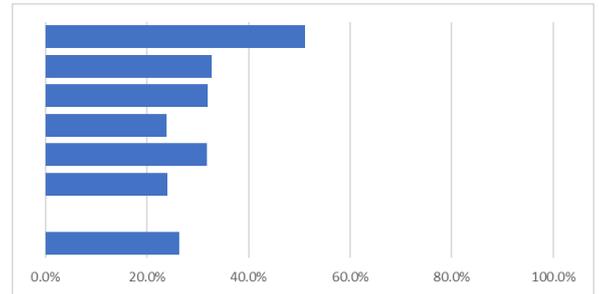
(4) 大阪市の環境学習関係事業について

Q21. <環境問題への興味・関心>

どのような環境問題に興味・関心をお持ちですか。

あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数	比率
1 地球温暖化	256	51.2%
2 大気汚染	164	32.8%
3 水質汚濁・海洋汚染	160	32.0%
4 生物多様性の損失	119	23.8%
5 森林破壊	159	31.8%
6 資源枯渇	120	24.0%
7 上記以外の環境問題	0	0.0%
8 環境問題に興味・関心はない	132	26.4%

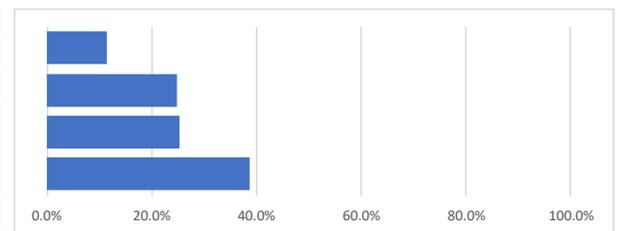


Q22. <環境学習の経験>

「環境学習(*)」という言葉を知っていますか?

あてはまるものを1つお選びください。

	回答数	比率
1 知っており、環境学習をしたことがある	57	11.4%
2 知っているが、環境学習をしたことはない	124	24.8%
3 知らないが、説明を読んで環境学習に興味があった	126	25.2%
4 知らないし、環境学習はやりたくない	193	38.6%
回答総数	500	100.0%

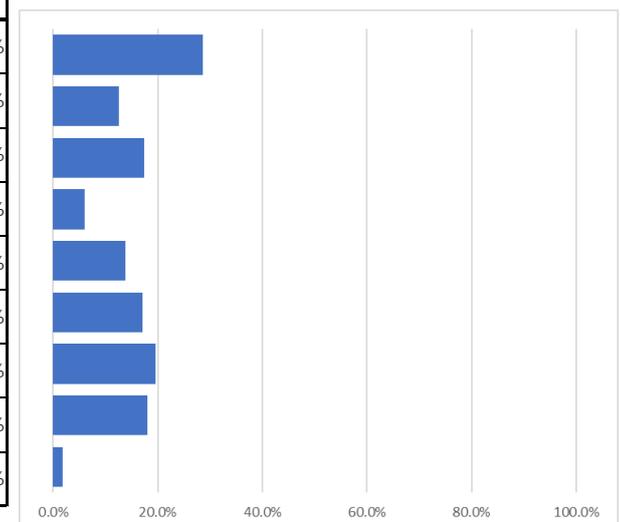


Q23. <環境学習の経験>

Q22で「2」または「4」を回答された方にお聞きします。その理由を教えてください。

あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数	比率
1 どうしていいかわからない	91	28.7%
2 仕事や家事、他の学業などで時間がない	40	12.6%
3 どこでどんな環境学習が実施されているのかなどの情報がない(少ない)	55	17.4%
4 参加したい学習講座等が見つからない	19	6.0%
5 気軽に参加できる講座がない(少ない)	44	13.9%
6 環境に興味・関心がない	54	17.0%
7 資金がない	62	19.6%
8 一緒に学ぶ仲間が見つからない	57	18.0%
9 その他	6	1.9%

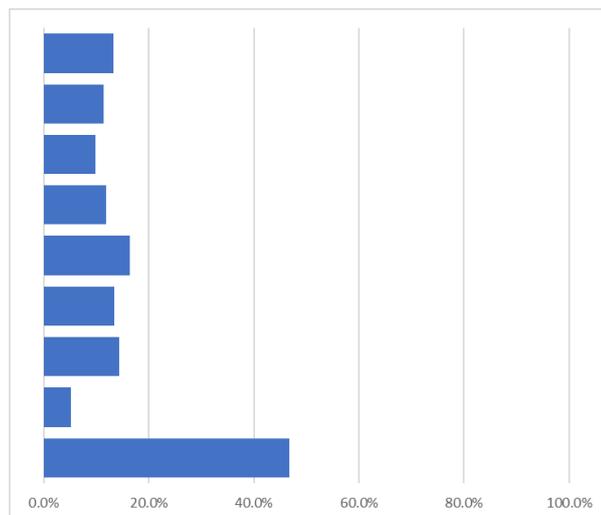


Q24. <環境学習の認知度>

大阪市では以下のような環境学習講座・イベントを実施及び検討しています。

参加してみたい、又は参加したことのある講座・イベントを、すべてお選びください。

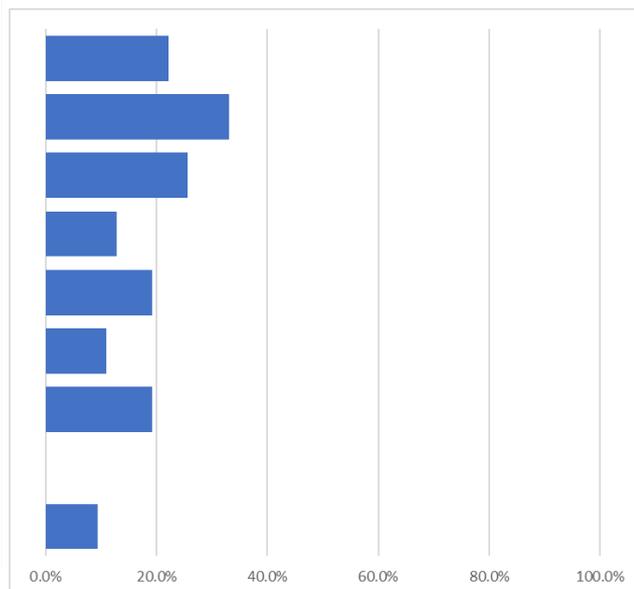
	回答数	比率
1 オンライン、動画配信による環境学習講座	66	13.2%
2 環境に関するポスター展示、イベント	57	11.4%
3 「ECO緑日」(毎年10月～11月ごろに鶴見緑地にて開催する環境イベント)	49	9.8%
4 区民まつり等での環境学習に関するブース展示	59	11.8%
5 「生き物調査」、「鳥さがし」などの生物多様性に関する講座	82	16.4%
6 「ごみ処理施設の施設見学」など廃棄物に関する講座	67	13.4%
7 「米づくり」、「伝統野菜づくり」、「植樹体験」など植物に関する講座	72	14.4%
8 ARタブレットを活用した体験型環境学習コンテンツ	26	5.2%
9 参加したくない	234	46.8%



Q25. <環境学習への興味・関心>

Q24 で 1～8 を選択された方におたずねします。本市の環境学習に興味を持った又は参加した理由として、あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数	比率
1 なんとなく今のままではいけないと思うから	59	22.2%
2 異常気象など今の状況に明確に危機を感じているから	88	33.1%
3 未来のためによりよい環境を残したいと思うから	68	25.6%
4 過去に学校で習ったり環境教育を受けたりしたから	34	12.8%
5 自然災害を経験したから	51	19.2%
6 過去に環境に関するイベントに参加したから	29	10.9%
7 内容が面白そうだから	51	19.2%
8 その他	0	0.0%
9 わからない	25	9.4%



Q26. <環境学習への参加しやすい環境>

大阪市が実施する環境学習講座・イベントのうち、どのような講座・イベントであれば参加したいですか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数	比率
1 自宅、勤務先などから参加しやすいもの（オンライン開催、距離的に近い場所での開催）	120	24.0%
2 休日開催のもの	90	18.0%
3 平日開催のもの	53	10.6%
4 子どもと一緒に参加できるもの	57	11.4%
5 区役所や図書館など公的な施設で実施されるもの	88	17.6%
6 参加したくない	226	45.2%
7 その他	0	0.0%

